

その他の非鉄金属製造業におけるはさまれ巻き込まれ災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	当社工場内においてアルミ部品のプレス加工作業中、他の事を考えていて加工部分に指を伸ばしたまま作業ペダルを踏んでしまい、右中指の先をプレス金型と加工部品の間に挟み負傷した。	58～29	10～
2	11～12	機械加工場内で工作機械作動中に鉄柱を機械の隙間を通り、奥に工具を取りに行った。奥から戻ろうとした時にちょうど機械がXプラス方向一杯（機械と鉄柱の間10cm）になってしまったため、上半身が機械と鉄柱の間に挟まってしまい右耳部と左側頭部を裂傷、及び左肋骨を骨折してしまった。	58～99	50～
3	21～22	ケーブルの試作で押出中に線の緩みがあるのを発見し、修正しようと線を押し込んだところ、ケーブル引き取りキャプスタンに右上腕を挟まれた。本人が大声を出し、近くにいた作業者が非常停止ボタンを押して設備を停止させ、数名で挟まれた右上腕を取り出し、救急搬送した。	43～299	100～
4	9～10	保全作業場にて旋盤機で研磨作業中、軍手をした右手にサンドペーパーを持って、回転している鉄製の棒を磨いていたところ、サンドペーパーと回転している棒との間に軍手の一部が巻き込まれ、咄嗟に手を引き抜いたが右手中指・薬指を切断、小指を裂創した。	63～49	30～
5	16～17	皮むき屑をピンチロールで引っ張り、チップカッターにて自動切断作業中、ピンチロールで引っ張らなくなったのを発見した。そこで、右手にて皮むき屑をあやしたところ、急に引っ張りだし、手袋と共にピンチロールに引き込まれ被災した。なお、通常とは反作業側であった。	22～299	100～
		リーチフォークリフトを構内作業中に、構内のラックから電線ドラムを荷卸しし、		30

5	17～ 18	乗車していたリーチフォークリフトを停車させるため移動し、壁近くにて停車させる際に、リフトが完全に停止する前に左足をリフトから出してしまい、壁とリフトの間に左足首を挟まれた。	39	～ 49
5	11～ 12	工場内で抽伸機の型を交換中、誤ってキャレッジ戻しのレバーを作動させてしまい、キャレッジが戻ってくる位置に左足を置いていた為、鉄壁とキャレッジの間に左足を挟み負傷した。	44	～ 49
6	11～ 12	工場内にてプレス作業中、誤って右手人差し指を挟んでしまった。	43	1～ 9
6	23～ 24	手狭な分級工場合金室内で、2400L空ドラムを定位置に移動し、安置のために微調整をかけている時に荷振れが発生し、床面に固定してある混合器と、移動させていた空ドラムに左足を挟まれ、左足くるぶし内側を骨折した。原因は、大きな荷振れを発生させてしまった事、室内が狭くて物が溢れていた事、移動対象との距離が取れず、かつ周囲の物にぶつけないで移動させると言った細かな作業が求められた事によるものである。	46	100 ～ 299
6	14～ 15	本社仕上工場内で、仏具をバフイングマシンで研磨作業中、砂バフの交換時に、電源スイッチを切らずに回転させたまま取り外しを行った為、左手軍手がシャフトとボルトに絡まり、左手首が巻き込まれた。	22	～ 49
7	15～ 16	倉庫で片付け作業をしていた際に、金属箱を別の金属箱に収納するときに掛けていたフックが外れ、指を挟み、左小指を切断した。	48	1～ 9
11	11～ 12	幼稚園2階音楽ホールから避難訓練のため、園庭に降りる時階段上部2段目より左足を踏み外し、左足甲部分を骨折した。	68	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html